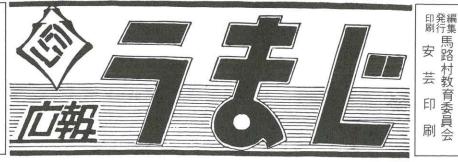
世帯 5 月末の人口 サカカセへ かもへ 九四五人 九七八人







営技術研修室、 修室、農林業経 にはユズ栽培研

〈前庭でモチ投げ〉

備です。 農政対策室、執 などで冷暖房完 養研修室(和室 があり、二階は 図書室、事務室 室、調理教室、 他産業就業相談

就業改善センター完成!!

昭和53年5月3日発行 第七〇号

営技術研修等の指導・協議・村外 業等、他産業就業研修・農林業経

六日、盛大に落成式を挙げました。 同センターは、農業者の導入企 『就業改善センター』が完成、

内産業の質的発展を目指した研修 進めようとする人材を育成し、村 施設を活用することにより、産業 就業者との交流の場として、この と生活両面から地域開発と発展を

五平方は。一階 積六百十三・四 助三千六百九十 業として、総工 れたものです。 万円)で建設さ 三万円(国庫補 費七千四百九十 工業導入特別事 施設です。 鉄筋コンクリ 国の農村地域

廃 統 11-

路村

議会だよ 馬路村議会事務局

次のとおりです。 6日~23日=昭和五十三年第二回 20日=議長・総務常任委員長・県 三月・四月・五月の議会活動は 日=魚梁瀬中学校卒業式 日=馬路中学校卒業式 ||三 月| 馬路村議会(三月定例会

知事などと会談

馬路村では初めて= 馬路村公営住宅完成

公営住宅はこのほど、 十六・三七平方は)で、専用物 簡易保険積立金融資七百八十万 費二千六百三十万円(内、国庫 に完成しました。 補助費一千四百五十八万二千円・ 五百七十平方は含む)・総事業 千六百八十三平方於(建物延 一百八十二平方紅・幼児遊園地 トブロック二階建、 馬路村公営住宅は、コンクリ 昨年十月着工された、馬路村 世帯当り、一戸二階建(五 で一棟、五戸建です。 敷地面積 日浦岡崎

予定です。 いますが、入居の条件等につい 千七百万円で、公営住宅が建つ 魚梁瀬丸山台地に総事業費約一 然に囲まれた公営住宅です。 しい広場となるでしょう。 ンコ等が設置され、子供達の 置が付き、家賃八千円です。 合せ下さい。 て詳しくは、村総務課へお問 今回の入居者はもう決定して なお、昭和五十三年度中には 日浦の高台に建ち、美しい 幼児遊園地には、砂場、ブラ

> 23日=馬路·魚梁瀬小学校卒業式 22日=西川・中川集落移転落成式 議長・副議長出席)

林政協議会(於·魚梁瀬

ŋ

17日=県農林部長等と議長・総務 10日=小石川山祭り・植樹祭 常任委員長·産業建設常任 委員長会談

26日=安芸郡町村議会議長会定期 20日=総務常任委員長·事務局長 長出席) 川、議長、副議長、事務局 総会(於、森林センター北 県地方課へ(木引きの件)

28日=昭和五十三年第三回馬路村 五月| 議会(四月臨時会)

12日=中芸地区防犯協議会 安芸市、議長出席)

日=中核林業振興地域育成特別 館、議長ほか出席) 事業研修会(於、馬路公民

20日=天皇陛下奉送迎(於、 空港、議長出席 高知

23日=伊吹住宅落成式(於、安田 21日=第二十九回全国植樹祭(於 公園、議長、副議長各常任 土佐山田町、甫喜ケ峰森林 委員長出席)

30日=安芸市総合社会福祉センタ 長出席) 一落成式(於、安芸市、議 議長ほか出席)

0

職 人事

南 陽子

魚も多くいたが簡単に魚を取る事 瀬ダムに取水をされるまでは、川 ることですが、安田川の水が魚梁 の水量も多く、大きな渕もあって 毎年安田川が解禁されると感じ も出来なかった。しか

ょ う なりました。そんな今 方が多いと思うが)や、 はらわない人(村外の でも、川漁の鑑札代を で簡単に魚を取る様に

在 ンプ等で)、又、毒や 漁を行なったり(キャ 禁止されている夜間の 電気等の漁をする人も

安田川の川遊び いると聞きます。特に 毒物を使うと全部の魚

びを楽しみましょう。 違反者を見つけたら、注意や通報 が死ぬので絶対にゆるせません。 皆んなで、安田川の川遊

までお問い合せ下さい。

,異動

谷井 三月三十一日付 光誼 (退 職

四月一日付

(社会教育指導員)

なり、投網やすくい網 くなり、川幅もせまく し、今では水量が少な

険料を来年四月から、三、三〇〇 円に引上げる。 、保険料の引上げ 現在、一ヵ月二、七三〇円の保

年金額については、 役場年金係

十五年六月までの二年間とする。 の強制加入期間のうち、過去の保 ことを知りたい方は、役場年金係 なお今回の改正について詳しい 現在年金を受けていない、明治

【住民課だより】

国民年金法が 改正されました

が改正されました。今回の改正は ます。なお、改正の主な点は、次 施には大きな関心がよせられてい れた、保険料の特例納付制度の実 年金者の救済対策としてもうけら の改定などとなっております。 合った各年金額の引上げ、保険料 特例納付の再開と物価上昇率に見 のとおりです。 特に今回の改正のなかでも、無 先の国会において、国民年金法

一、年金額の引上げ

取扱いは、今年の七月から昭和五 を納めることができる。なおこの 四、〇〇〇円でその期間の保険料 険料未納期間について、一ヵ月、 四十四年四月二日以降生まれの人 三、保険料の特例納付の実施

部落に対する

あやまった考え方

前の水平社運動の伝統をうけつい

部落差別をなくする運動は、

で活発に動きはじめ、昭和二十一

解放への歩み 五戦後の解放運動

年に日本国憲法を新しく定めまし のもとに平等であって、人種・信 た。この憲法で「すべて国民は法 て発足するにあたり、昭和二十一 戦後わが国が民主主義国家とし

差別の苦しみは少しもかわりませ ましたが、部落の人びとの貧困と 主化の方向で大きく前進をはじめ ---」(憲法第十四条)と明記し、民 会的関係において差別されない… により、政治的、経済的または社 条・性別・社会的身分または門地

んでした。

○馬路囲碁大会を年に四 催し、初心者講座も開いては ~ 五回

願運動など活発な国民運動を展開

を委員長にすえ、部落解放全国請 郎氏(福岡県出身元参議院副議長 町村にも支部が組織されました。 と改称)が結成され、各県、各市 員会(昭和三十年に部落解放同盟 年二月、京都市で部落解放全国委

人間解放の父といわれた松本治

『去る五月二十五・六日、夜七



松本秀継(馬路中

事

光秀 (相名)

益田豊秀(営林署

保(役場)

親

会長

員は次の通りです。

昭和五十三年度役

む

石を通じて親睦の実

は和気あいあい、碁 日間で延べ約四十名

をあげた。.....』

載)写真は、 発行、馬路囲碁ニュースより掲 ○乱れ打ち会も時々開こう。 ○囲碁の講師による研究会を開 (以上S五十三年四月二十八日 場面

動を大きく前進さしました。

の意志をうけつぎ、部落解放の運

し、松本氏なきあとも、その不屈

の教師たちは昭和二十二年から自

また、同和教育の面でも、一部

異動による新顔もまじって、二 ち会は、営林署や学校の職員の れた本年度初の春の囲碁乱れ打 時ごろより、馬路公民館で行わ

ろうとする動きがでてきはじめま として福祉教員制度が発足し、ま によって全県的に同和教育が広が 昭和二十五年から教育行政の施策 た同和担当の主事がおかれるなど 主的な研究に入りました。その後

なお部落には差別の結果としての の面で阻害されています。今日の 区の生活環境や教育条件は少しず 人間らしく生きる権利がいろいろ つ改善されつつありますが、いま 教育運動の高まりのなかで同和地 このような部落解放運動や同和

今後のスケジュール

たのです。 るといわれた市長のもとでおこっ ルロマンス事件」という事件がお ものですので述べてみましょう。 ンス事件は見逃すことはできない 最も重要なものとしてオールロマ 部落差別の実態を把握するうえに、 こりました。それも、民主的であ 昭和二十六年、京都市で「オー

別用語ですが、それを小説の題に 特殊部落」ということばじたい差 う雑誌があり、これに「特殊部落 けて、荒れに荒れて混乱にうちひ 当時は、都市はいうにおよばず、 くろして書きならべたのでした。 の低劣な条件の数々を誇張し、ば つけております。そのうえ、部落 部落を小説の舞台にしました。 ま彼は担当区域内にあるSという た人は市衛生局の職員で、たまた 小説がのせられていました。書い という題名のもとにろこつな差別 しがれていました。 農山村部落でも戦争のいたでをう その当時、オールロマンスとい

ク拾い、くず屋、廃品回収、日雇 た。しかし一日の生活費をつくる れこんできました。人びとは、モ われた貧しい人びとがどっとなが い、雑役と必死になって働きまし た。そこへ、戦争のため生活をお 入の状態に追いおとされていまし によってよりいっそう無職と低収 つけなかった部落の人々は、敗戦 じゅう来からもきまった職業に

いる人がかなりありました。

それが非行化へつながるといった に追いまわされました。そうして、 子どもたちは親の内職の手つだい たところもたくさんありました。 の子どもの長欠は、七十%をこえ ることができるでしょうか。部落 制の義務教育をどうしてうけさせ こうした生活状態の中で、六、三 ことはたいへんな苦労でした。

ケースもしばしばでした。

かんとく指導するたちばであるの ま犯罪者が身をかくすのにつごう 欠の部落」と書きました。たまた の中にもトラコーマをわずらって 病がひろがり、子どもにもおとな 生し、セキリ、エキリなどの伝染 それが悪臭をはなち、蚊や繩が発 雨がふれば路地に汚水がたまり、 便所や台所の設備のあるのもすく すから、住居はひしめくように無 ました。このように彼がモデルに 特有の反社会性かのように強調し したことも、作者はそれを本人が り、麻薬常習者がながれこんだり のよい場所として部落をえらんだ 下水溝もなく、道という道もなく でした。したがって下水溝という なく、水道も共同利用がほとんど ったり材料がわるくてかたむき、 統制にこみあい、また住宅も古か からかえりみられなかった部落で したS部落は、もともと市の行政 に、これも小説の材料として部落 このことを作者は、「非行と長



の姿と重なって、心中一杯に溢れ けなかった面影が、成長した現在 当日だった。一番気掛かりだった するのがやっとだった。 た涙を、面に出さぬ様努力 次男の結婚が決った時、幼くあど この良き日は私の次男の結婚式の 仄かに梅ケ香の漂う建国記念日、 たる大気の中、昔の夢偲ばせて、 昭和五十三年二月十一日、玲瓏

寄せて来た。 の時、此の時の思い出が、 時に私の胸にどっと押し それと同時に、過去のあ

家まで持って帰り、母と三 中学校々庭で運動会のあっ きな物を買って、影の家ま の貯めた小使いで、私の好 人で食べた事もあった。 た日、小さな西瓜を買い、 で持って来てくれた次男、 心のスクリーンに次々と 私が病気だった時、自分

晴れ姿を一番見たかったのは、私 澄み渡っていた。 是非出席して欲しいと言われ、又 かに暖かく、何処までも青くく 、そうだ、あの時仰いだ空は、仄 よみがえるなつかしい思い出、 高知市在住の主人の弟からも、 あ

> 思うに任せず、あきらめて二人の がら兄弟力を合せて挙行したこの さんから見せてもらった。微力な 其の写真も新しく嫁となった文子 の祝詞もあったと聞いている。又 高知工業時代の友人、又県議の方 が高知市まで行ってくれた。出雲 かも知れないけれど、弱い身体は き言葉があろう。ただ胸中感激の 結婚式に今更母の私が何の言うべ 大社で行なわれた式はすばらしく 夫婦、私の生家からは従兄弟夫婦 当日は、谷井家の主家の兄、 来の幸を心から祈る事にした。

(日浦) 涙をかみしめるばかりであ かってあの子が高知工業

は大きく理想の翼を張って い目で見られるけれど将来 を見せてくれ、その中には 影の家に泊りに来た。 帰省すれば必ず兄弟揃っ 定時制に通学していた時、 夜間部生徒の歌があった。 「今は貧しく人々から冷た んで見せる。と書かれた その時、 次男は学生手帳

乾

寅江

遺

母は涙を見せてはいけなかったの なぜならば、子供の将来を思えば 黙って薬をぬり涙は見せなかった。 そのひび割れた手に私は

て立派に翼を張って飛んでくれた。 設会社に勤務しあの子は、成長し 高知工業を終り建

> れる事だろう。 将来に向ってはばたいて行ってく くても、やがて大きくたくましく その翼は、今は幼なくやわらか

に持って行って報告しよう。 弟妹の幸を祈って逝った長女の許 の最後の日、病苦も忘れてただ、 の手許に大事にしまってある。私 旅行先からの絵葉書の便りは私

今一つの楽しみは、 中一に通っ

ば気のすまぬ子、果して私は、孫 答する私でもある。 ろうか。晩春の空を仰いで自問自 んで晩咲きの桜も散りている事だ か。何処かの山陰では、 の花嫁姿を見る事は出来るだろう に似て泣いてでも宿題をすませね ている孫である。自分の少女時代 春を惜し

花惜しむ 心にしみる青若葉 思い出淡く 野辺を飾れり

(日浦

浅井和雄

よく甘え慕いつづけた母-を、すいてやっていた。 の遺体に寄りそって、こまめに髪 通夜の翌日小学三年の美香は母 おさ

をそこに見た。 た幼い日々をしわあせで、いろど めに夢もくだけた少女の無心な姿 にして、たちきられた決別のさだ 断ちがたい親子の、えにしを一瞬 った楽しい桜の園でもあったろう。 い豊かな母の慈愛……それは、ま 胸に夕焼のように灼きついた暖か 燦然と輝く太陽のごとく、 小さな

[激励の手紙]

ら寄せられた二通を、ここに原文 ら、あたたかい、はげましの手紙 のまま紹介させていただきます。 から、当時純のクラスの一年生か が届けられた。沢山いただいた中 小学校のクラスの児童の皆さんか 野辺送りの日遺児の美香と純に じゅうくんへ

じゅんくん。がんばってね。..... あそんであげるよ。さびしいろ、 おらなかったら、ぼくにいったら、 てよ。もしも、あそぶあいてが、 あったら、なんでもいいからいっ でもね、じゅんくんできんことが くなったので、さびしいでしょう。 じゅんくん、おかあさんが、な じゅんくんへ みなみひさゆき

の仕草であった。

な心にその母に対する哀しい別れ

まえたいけど、おとうさんや、お じゅんくん、おかあさんに、あ つづきゆみ子

やんと、いきているのではありま くては、がっこうから、かえり せんか。でもおかあさんが、いな かあさんは、こころのなかに、ち あないの、じゅんくん、でも、お ねえさんが、いるから、いいじゃ 「おかあさん、ただいま。

「はい。 といっても、へんじの

てきてね。じゅんくん。...... あたまにないように、すっきりし ょうしてね。おかあさんのことが、 ないぐらい、がんばって、べんき て、みんながようおいぬいていけ るのではっぴょうを、どんどんし てね。べんきょうが、おくれてい むかえてくれるから、げんきにき きたら、みんなが、じゅんくんを、 きているときの、げんきなかおで んきになって、おかあさんが、い すんで、がっこうへくるとき、 っているでしょう。おそうしきが それぐらいの、えらいきもち、 じゅんくんは、おとこのこでしょ。 とばかり、かんがえないでね。 きょうのときに、おかあさんのこ うけれども、がんばってね。べん んながいるから、さびしいでしょ ないでしょう。けど一ねんの、 ということばが、きこえて、 げ

児童の、みなさんに厚くお礼を申 この他にも沢山の心のこもった貴 ましの作文を、よせていただいた して下さった担当の先生方、はげ 重な手紙をいただきました。企画

と上げたい。子供の心像の世界は、 天真爛漫で、けがれを知らぬ富士 の白雪にもにて、そのきよらかな の白雪にもにて、そのきよらかな 真実に、心をうたれる。 ま来社会を背負って立つ、この子 ま来社会を背負って立つ、この子

【雑草】

一九七六年のこの年の一月には、一九七六年のこの年の一月には、「小さな炎も、広野を九月には、「小さな炎も、広野を焼きつくす」の詩文でも有名な、寒さ死。病死。自殺。他殺。情死。事故死。病死。自殺。他殺。情死。事故死。病死。自殺。他殺。情死。郡は生の敗北であり、生理的な損失であって、自分というものは、たい世界に一つしかない貴重な存在である。

り、想像を絶する修業をなし五穀の食を断った。そして僅かに草木の芽を食していたが次第に肉体はった。そこで遺言をのこして桶にった。そこで遺言をのこして桶に大り小さな空気穴をつくって、上入り小さな空気穴をつくって、上人は生身のまま地中深く埋められた。地底で桶に座し数珠を掌中に、たっ地底で桶に座し数珠を掌中に、たっ地底で桶に座し数珠を掌中に、たっ地底で桶に座し数珠を掌中に、

えた。ついに空気穴からの念仏は、とだ

生の機能が止まり数珠が、ひざに生の機能が止まり数珠が、ひざにこの自然に挑戦し最もきびしい試に耐え生の極限に、じわくと迫っていった真如海上人の、超人的異色の精神力と、電光石火のごとく生涯の幕をとじた三島由紀夫とく生涯の幕をとじた三島由紀夫た彼岸に、果して永遠の真理、永流の生命を、見いだしたのであろうか。

来通点として、いずれも異色で凄まじい悲壮感が、ただよっている。 まじい悲壮感が、ただよっている。 そのスケールや内容が違ってくる。 そのスケールや内容が違ってくる。 そのスケールや内容が違ってくる。 を多込まれた世界の死亡者数は 推定で将兵二〇七七万 一般市民 二〇〇〇万 ~ 三〇〇万と、い

な骸骨化した人間が其処此処にい 世の者とも思われない見るも哀れ 中に、きわだって、やせ衰えこの た。そのおびただしい人間群像の 戦後公開されたこの記録映画をみ れ、ガス室で大量に虐殺された。 さらされ最後には全員が裸体にさ ら送りこまれたユダヤ人が飢えに ツの強制収容所では、占領地区か らば政府よ、日本の現在行ってい の犠性となったのである。 対に戦争という不幸な運命の潮流 このようにして自分の意志とは反 るだろうか」(慶大卒 松岡欣平 る戦いは勝算があって、やってい 輩も戦いに臨んで死んでいく、死 分は命が惜しい。先輩も自分も後 …とは何だろうか、卒直に言うな 「まさに学徒出陣の時は来た。 方ヨーロッパ戦々のナチスドイ

「たまるかのう」目は落ちこんで手足は火箸ばあしかないが」を誰かがいった。中でも大人達にまじって、いたいけな五、六才位まじって、いたいけな五、六才位まじって、いたいけな五、六才位ま、最後のガス室に、はいっていま、最後のガス室にで殺害されたそさそった。ガス室で殺害されたそさそった。ガス室で殺害されたそさそった。ガス室で殺害されたそさそった。ガス室で殺害されたそうなが、「二〇〇万人に及び人類に対する犯罪のうちでも、もっとも残虐の限りをつくしたこの厳然

たる事実は、いまだ人類の歴史にたる事実は、いまだ人類の歴史においても、悪魔的な非人間性を発起しなかったといわれる。またこの収容所で書いた小学生のまたこの収容所で書いた小学生のまたこの収容所で書いた小学生のまだだしい鳥が群れをなして、おびただしい鳥が群れをなして、ふるさとの我家をめざして飛んでいく絵であった。

の燃える思いを如実に表現した絶い故郷……どんなにか、ふるさとい故郷……自由になりたいなあ「ああ……自由になりたいなあ「ああ……自分達は鳥のようになってみんなで郷里にかえりたい……」

魚梁瀬俳壇

筆の絵であった。

花の幕ふくらむたびに花ふぶ

の心は、いたむ。作家三島由紀夫

は、自からの信念を一歩も曲げず

国時代の武士道精神の、片鱗を、

一画的に清冽な最後をとげた。戦

れるがごとき往生は、天寿を全う

相当の老境に入り老衰で古木が枯

した人だといわれるが、若死程人

ほろ酔いてふらり寄りけり花集い

「何時までも鼻にか、りて春のかぜ、鉄・野物の芽のいつもの場所に芽出えけり

皇居前桜も入れて写真撮る保かわし人それぞれに夕桜

浪江

もって、きびしい信仰の世界に入されたが、山形県、出羽三山の、されたが、山形県、出羽三山の、生身のまま成仏したといわれる真生身のまま成仏したといわれる真生力ではできない強靭な精神力をもって、きびしい信仰の世界に入

舞い落つる桜一輪手のひらに

年忌日や尼僧も濡れて梅の径

明けてゆく春の空ある峡の里年 長

i L

4

7日=村内小中学校入学式 13日=角梁瀬婦人会総会 22日=PTA総会

28日=村内同和教育指導者研修会24日=村内校長教頭会(馬路)(馬路)

議会議員対象

3

5日=子供の日・子供会ソフトボ3日=憲法記念日

7

21日=第二十九回全国植樹祭(甫喜ケ峰)

22日=馬路村文化推進協議会総会22日=馬路村文化推進協議会総会

30日=馬路子供会総会 30日=馬路子供会総会 第済会並びに総会

放島崎校長を思ん

梁 瀬 俳 增

坂 本 浪 江

梅香る庭出でゆきし柩かな 在りし日の笑顔いつまで梅匂ふ 充実の柿とりわくる頂点に

霊乗せて行くや静かな春の雲

春の野や果てなき彼方師の逝きて 告別の列の続きて春の野辺

花むしろ帰らぬ師をば今日もふと

再会の祈りも尽きし春の草

せんでした。 とう此の里の土を踏む事が出来ま 徳島大学病院へ再度入院されとう 梁瀬俳壇四十三回の句会を最後に な小鳥のさえずりが聞えてきます。 忘れることの出来ない昨年六月魚 は、美しい若葉でつ、まれのどか 花咲くを待たずに逝きし師を思ひ 島崎先生の愛した魚梁瀬の山々

か帰りたかった事でしょう。 力で頑張り抜いた先生、どんなに 魚梁瀬中学校の教壇になにがなん でも復帰してみせると言う強い気 思えば、四十九年四月此の里に 苦しい闘病生活に耐えもう一度

昭和五十三年六月三

せて頂きました。この間二人の子 生活に接し、あらゆる面で勉強さ 号より昨年再度入院されるまで三 男が、もらって帰った山峡雑感一 百九十二号数々の歴史を残して下 家庭で又職場で常に先生の日常

いました。 涙をぽろぽろ流して伴走して下さ され必死で走る子供達を励まし、 北風の中、先生は、バイクを運転 寒い冬の中学駅伝、身を切る様な 心を一つにして喜びを共にしたソ 出は、多く特に心に残る事は、夏 進み県大会出場の感激、そして又 フトボール大会、中芸、郡と勝ち の炎天下先生方も子供達も父兄も 子供達の中学時代先生との想い

達に優しく御指導して下さり一回 生しました。何も判らなかった私 続けて下さり、翌年七月やっと誕 グループ結成を根気よく呼びかけ い分長い間、山峡雑感一号から、 の文化発展に全力を注がれました。 間もいとわず、奥様と御一緒で村 会教育からと、あらゆる分野で夜 回がとても楽しい句会でした。 特に魚梁瀬俳壇誕生までも、ず 先生は常に、学校教育はまず社 わずか一年後、

あなたは

はやめましょう。

又、見かけた人は注

に自分勝手にすてるの 週二回行なっているの み」の収集は役場が、

意しましょう。

誰

(

ててありました。「ご

梁瀬部落より約一・五 kmの所に「ごみ」をす

千本杉への林道、

着任され当時中学校三年だった長 生の発病そして入院私達は、大き

供は、それぞれ先生に前途を祝福 巣立って行きました。 され石川啄木のふるさとの詩を歌 って、卒業証書を手渡してもらい

るばかり、八月末には一度帰山し もして下さいました。 の入院、苦しい中から俳壇をよろ 出すか判らないと退院後始めての 壇に立つ事が出来ました。 い体力と気力で百十日間の入院生 なショックでした。でも先生の強 しく頼むと書き続け一生懸命投句 山峡雑感に書かれていました。 は、全快したのではない、死火山 涙して喜びました。しかし、先生 先生の全快のうれしさに句友一同 活を終え、再び魚梁瀬中学校の教 ではなく休火山、いつどこへふき 先生の御病気は、日増に悪化す それから、七ケ月後先生の再度 俳壇もやっと、生気を取り戻し

たいと書れた事も村文化祭にぜひ

なくなりました。 いま、先生からの便りも句も届か 帰ると書れた事も、かなえられな

せんでした。 とう此の里には、帰る事が出来ま まで云って下さっていたのにとう 退職後も魚梁瀬俳壇に籍を置くと でマユをする事が念願だった先生 この里をこよなく愛し、この里

き先生の御供養と思われます。 どうか皆様の御指導をお願い致. に励まし合って残された私達の手 うな此頃ですが、せっかく先生 もすれば句を作る気力さえ失いそ つにつれ現実のものとなり、やゝ で燃やし続ける事がせめてもの亡 灯された魚梁瀬俳壇の火、お互 先生を失った悲しみは、日が立

こ出産おめでとうございます

岡浜山山岩山 野口中中口 崎 敬 展 隆 喜美子 芳 史 子 くるみ 栄 久 紀 知 鉄 赤ちゃん 史 美 乃穂 平 二女 長女 長女 長男 長女 2 · 4 : 13 4 . 7 3 20 2 28 5 4 月 ヤナセ ヤナセ ヤナセ ヤナセ

お ます

氏 伊 井氏 時 恵男 行年 70 45 3 23 亡月日 世帯主 男

っています。 ていま、新緑に映えて威容をほこ 昨秋堂々完成いたしました。そし ん方のあたたかいご援助により、 当局の深いご理解と、校下みなさ わたしたちの馬路小学校は、村

施設范實匠 馬路小学校 おたたまる間り られ、内容の充実に した方々の心あたた くさんの善意がよせ 備美化にも、またた だきたいと思います。 礼にかえさしていた 介を申しあげて、お まる贈りもののご紹 ださいました。こう にふさわしい環境整 段と花をそえてく まず、玄関わきの さらにこの新校舎

子どもたちをはげまし続けてくだ す。馬路小学校の続く限り永久に 遺族から寄贈されたものでありま 活動に従事された、伊吹先生の御 の主石は、長く村民のために医療 役割を果していますが、この庭園 たちの心をなごます 日本式庭園は子ども

また玄関にはいってまず眼につ 樹令百八年の魚梁瀬杉標

界された岡崎校長は、

手がけた校

昨年六月、

全く不慮の事故で他

さることでしょう。

額と、校長室に飾られた筒井先生 本と向いあった今野画伯の風景画 の静物画額であります。

守ってくれることと信じます。

わたしたちは、こうした善意を

なざしで、

子どもたちの成長を見

書室で、いつまでもあたたかいま 岡崎校長は、新装なった校舎の図 に本を読むことの大切さを教えた みまかった訳ですが、子どもたち 舎建築の完成を見ることなくして

美しい物を美しいと感じとる小

創る責任を痛感します。その責務 体し、新校舎にふさわしい内容を

TAからいただいた二つの画額は く思っています。 ない贈りもので、ほんとうに有難 情操教育をすすめる上で、この上 を養うことは、教育の中で極めて 大切なことですから、婦人会とP さらに図書室に上りますと、故

岡崎校長の奥さんよりいただいた 「岡崎文庫」 があります。

琵琶子夫人が、



0

介馬路小学校図書室・岡崎文庫

の志半ばにして、三月三日に帰ら 冥福を心からお祈りしています。 ざる人となった島崎英夫校長の御 し、いつまでもと願い続けて、そ 御子息茂氏に託された一文の中の 「土阿二州尾根を連ねて花曇る 四年間こよなく魚梁瀬の地を愛 春をも待たず夫の逝きけり」 卒業式に寄せて 来ました。

首です。

後ともよろしくお願いいたします。 えずお礼にかえさしていただきま えることだと考えています。 簡単なご紹介を申しあげ、とりあ とが、こうした方々の御厚意に応 子どもの教育に当ります。 を果す為、教職員一団となって、 このたび村広報をおかりして、 そして具体的に成果をあげるこ ありがとうございました。今

島崎文庫の御紹介と御礼 魚梁瀬中学校

三十五巻をベースに、「日本の歴 った今、代って頼れる「百科辞典 長に教えを乞うことが出来なくな 来ました。博学であられた島崎校 月十九日、ちょうど卒業式当日に ーズ」 二十巻を揃えることが出 「島崎文庫」を設置することが出 御遺族の御厚志により、去る三 十巻、アルダス版自然シリ

御寄贈載きました 尚書胡江井上满氏上 枝の御屋志により設置いた故島崎英夫校長先生の都遺 島崎文庫はこの度

↑魚梁瀬中学校・図書室 島崎文庫

交の深かった魚梁瀬木材の社長井 と思いますが、揃えました図書に ますので御利用下さい。 と思います。いつでも開放いたし くことが最高の御礼の表現になる て下さいました。 当に快く御引き受け下さって作っ からと御無理をお願いした所、 上満氏より御寄贈いただきました。 棚、これは、島崎校長が生前、親 ふさわしい、立派な「焼杉」の書 さんにも、どしどし御活用いたゞ 更めて、厚くお礼を申し上げま 又、御覧いた、くと感心される 何とか卒業式に間に合わしたい 生徒は勿論、地域の一般のみな

本

御多幸を心からお祈りしています。 う御遺族のみなさんの御健勝と、 れた足跡が甦ってくることでしょ 「島崎文庫」に向かう度に残さ

||魚梁瀬公民館へも 百科辞典を=

献があり、地域の方々とも、親交 だきたいと存じます。 般の方々に、永くご利用していた 先生のご遺徳をしのぶと共に、 員会へも金一封が贈られました。 香典がえしの一部として、教育委 が深かった島崎先生のご遺族より、 へ百科辞典(全三十七巻)を備え、 紙上にてお礼を申し上げます。 魚梁瀬地区の社会教育振興に貢 教育委員会では、魚梁瀬公民館

(馬路村管内)

牛牛の

生方は次のとおりです。 四月一日付で転出入のあった先

長に ○川谷幸子 (在勤三年) 魚 〇下司景正(在勤六年)別役小校 ※転出された先生方※ (馬路小学校)

(魚梁瀬小学校)

〇五藤 〇本間溢子 (在勤二年) 〇田渕佳子 ○渡辺美恵 〇溝渕寿幸 (在勤一年) (在勤三年) (在勤三年)三高小へ (在勤二年) 退職 椎名小へ 室戸小へ 芸西小へ

(魚梁瀬中学校)

清水ケ丘中へ ○橋詰利光(在勤二年)管ノ上中 〇五藤千代 (在勤二年) 羽根 〇樋口和幸(在勤九ケ月

⑥担任·教科等 7趣味 ④前任校 ⑤出身校 ①氏名 ②年令 ③出身地 ※転入してこられた先生方※

② 53 才 ③田野町 4 土居小

①田村勢喜

▲馬路小学校

たいと思っています。

お願いします。

山や木のことを、いろいろ知り

すが、頑張りたいと考えています。

ので、地域住民の方に、協力して

今まで以上に御指導、

御交誼を

⑦史跡・文化財調査・囲碁・釣り を充実さしたい。 正しい言動・細やかな人情・ ⑤高知師範 ⑥校長 舎にふさわしい内容としての教育 ⑧澄んだ瞳・なつっこい顔・礼儀 (共に下手なヨコズキ) この恵まれた条件の中で、新校

の仕事をすすめたい。 と身につけさしたい。 ば、ライフワークの地域の教材化 難にもくじけない根性、 通用する学力、強じんな体力、困 個人的には時間のゆとりがあれ をきちん

山の子どもでも、何処へ出ても



1)近藤

淳

8ひとを大切にする子を育てたい ④菅ノ上小 ⑤高知師範 ②49才 ③安芸市赤野 と思っています。 7木材加工 ⑥教頭·社会(六年) ·音楽(三年)

① 中島恵利子

新たです。 す。また自然やよい環境の中で、 になり、大変うれしく思っていま 8昨年に続いておせわになること こと等)・読書・音楽 ⑦寺社史跡歩き (特に仏像をみる ⑤仏教大学 ⑥五年 ②24才 ③安田町 子どもたちと学べることに希望も ④新採

どうぞよろしくお願い致します。 ▲魚梁瀬小学校



①長戸 一夫

② 48 才 8馬路小に足かけ六年、 ⑦これといった趣味はなさそう。 ⑤旧制安芸中 ⑥教頭·四年主任 度目の御奉行です。 かじりばかりです。 囲碁、将棋、マージャンみな半 3安田町 ④栃ノ木小 今度は二

おろした教育が、出来るか不安で 魚梁瀬杉のように、大地に根を

①川谷幸子

とを願って、微力ながら努力して もつ、ゆたかな子どもに育てるこ を引き出し、みずみずしい感動を 8一日も早く、お父さんやお母さ ⑤高知師範 ⑥一年 ⑦読書 ②51才 ③安芸市 ん方と親しくなりたいこと。 一人一人の子どものもつ可能性 4馬路小



りますのでよろしくお願いします。 努めればと、気持ちを新たに頑張

て、楽しい学校生活であるように

そして、ふれあい、を大切にし

①大森秀男

8魚梁瀬へ来たのは初めてです。 ② 26 才 昆虫等の生態を研究することです るく、話し合いたいと思っており 地域の人々、児童達と仲よく、明 記録作り 虫(蝶・トンボ)の生態〕 で自然科学〔野生動物の生態、昆 ⑤国土館大学 ⑥六年 ますので、よろしくお願いします。 私の楽しみは、野生動物、 3香美郡野市町 の研究 4元小 鳥、

> 4新卒 ② 22 才

⑤橘女子大学 ③香美郡野市町土居

6 二年

⑧魚梁瀬での教員生活は、ウグイ ⑦レコード鑑賞・お菓子づくり

スの鳴き声で一日が始まります。

美しい桜も、今の私にはゆっくり

けれど小鳥たちのさえずりも、

下さればさいわいと思います。 0

①岡村万理子

して、子供達と共に学習していき 晴らしい魚梁瀬の自然環境を生か ⑧緑の山々にかこまれた、この素 (アこれといった趣味はありません たいと思っています。 コードに限らず)が好きです。 が、花を育てたり、音楽鑑賞(レ ⑤徳島文理大学短大 ②24才 ③芸西村西分 ⑥五年

①松井知香

かなくてはと思っています。 と鑑賞するゆとりもありません。 「ゆっくり休まず」がんばって行 かわいい子どもたちのために、



なるよう努力したいと思います。 分の健康について、考えれる人と

①岩崎圭子

② 20 才 思い出がよみがえってきます。 す。子供達を見ていると、 梁瀬小学校で大変うれしく思いま 8最初の赴任地が、母校である魚 ⑦フォークダンス・ソフトボール ⑤四国女子短大 ⑥養護 3魚梁瀬 当時の

3 馬路

⑤四国学院大

1 南

⑦ピアノ

思います。



年も他地に勤務しておりましたの ⑤徳島女子大 ⑥養護・家庭(一 ②30才 ③馬路 ④安田中 ⑧地元に居住しておりますが、何 ⑦あみ物·手芸 年) · 保健 (三年)

れあい。を大事にしていきたいと 手になれるよう、子供達との、ふ 子供達の良き遊び相手、話し相

《馬路中学校》

① 清岡志津香

⑧野村先生が休職された後、 **プレコード鑑賞・旅行**

昨年

九月に馬路にまいりました。

⑥国語・体育・音楽

3安田町

5高知女子大

② 23 才 8開放的で、ちゃめっ気たっぷり ⑥英語・社会・家庭 0 一年生と共に頑張ります。

0

《魚梁瀬中学校》

家庭教育、

社会教育の安定した三

馬路のことを十分に知ってい



ようにしたいと思います。 校、子供達、地域の皆様に慣れる るとはいえません。一日も早く学

そして、子供達一人一人が、

①川谷義雄

⑤旧制安芸中 ②52才 ③安芸市港町 6校長 4教頭

幸

ような大黒柱には到底なれないが という重責を担うことになりまし 七人のすばらしい同僚と支え合っ た。勿論、非力の身、 崎校長の後を継いで、本校の校長 て頑張っていきたいと思っており 三月末の異動で、はからずも島 島崎校長の

いく決心をしております。 ます。そして、現在、その自問の 問い続けていきたいと考えており お互いに勉強し、夫々に持ち味を これからもずっと「校長はいかに 十分生かしながら、一致して、三 あるべきか、何をなすべきか」を 第一は、仲間の七人の先生方と 一ケ月余り経った今も、また、 次の二点のことを実行して

①竹内かな

生徒を見つめなおしていくこと。 の中でも申しましたが、学校教育 う校長という立場から一人一人の 第二は、私自身、これまでと違 運動会の時の閉会の挨拶

成長して行きたいと思っています。

未熟者ですが、生徒とともに、

よろしくお願い致します。

頑張って行きたいと思います。

生徒達の笑顔に支えられながら、

るだけしていくこと。

る物心両面からの条件整備を出来

十二名の生徒達の教育に打ち込め

新緑のすがすがしい馬路の地で、

の健やかな成長があると信じてい 脚の上にこそ、魚梁瀬の子ども達

ます。 三脚を打ち立てていきたいと念じ 盤の上に、お互いに一層連絡を密 瀬の住人になることが出来て喜ん にし、協力し合って、より確かな ております。また、四月から魚梁 種々な問題や歪みの多い社会地

がい申し上げます。 でいます。 今後、 公私ともによろしくおね

8馬路村の素晴らしい自然と、地

域の人々の暖かい人間味にひかれ

⑥国語・音楽・体育

7音楽鑑賞

4羽根中

⑤高知大学

田



1 岡崎徐八

② 48 才 ⑧落ちこぼれのない教育を、 ⑥英語・社会 ⑦釣・読書 ④佐喜浜中 ⑤中央大学 いと思います。 内容と質を高めること以外にはな な小規模校では、教育そのものの 特に高いようですが、本校のよう とどいた教育をという声は、 ③室戸市椎名 最近 行き

⑧生徒、父兄とのつながりを大切

にし、どんなことにも粘り強くと

科 (一年) ⑦磯釣

りくんでいきたいと思います。

ご指導をよろしくお願いいたし

えています。 て行くか、今はそのことだけを考 剣に子供とどうとり組み、実践し 二十五年の教職員生活になりま が、もう一度原点に戻って、真

≪毎月≫

第三日曜日

家庭

0)

B

ます。



①長戸寿子

をひびかせたいと思います。

丸山台地に子供達の力強い歌声

てまたやって来ました。

⑥一年主任·技術(全学年) ③室戸市羽根町 5日本大学 ①竹崎義秀 理

②25才

4新採

民具の収集について()

||馬路村文化財調査委員会||

に関係のある民具の分類を紹介し 第七十号では、生産、生業に関 前回、第六十九号では、衣食住

係のあるものを紹介します。

用途分類による民具の概要そのⅡ

二生産・生業 (1)農耕(果樹・園芸等を含む A耕作用具

苗かご・田植綱 たね入、たね漬け用具

牛ぐら、その他の用具 くわ、かま、すきぐわ、

B管理用具 桑つみ、園芸用具 施肥、除草、害虫駆除

C収穫、調整用具

田植用かたなど

かま、せんばごき、みの

かます、ふご、ゆすぎな うす類、きね、たわら、 かさ、みの、み、とうみ、

D儀礼用具

(E)その他 どに使う用具など、 水神祭、虫追い、祈祷な

(2)山樵 (やまきこり) A山図面、入会文書類など (B)搬出用具 炭俵と編み用具、かすが



C)炭焼がま、山小屋などの施 用かっ車など い、すら、木馬、とばし

炭焼用具、そま用具、 うち用具、 びき用具、 植林用具、 枝

D山樵用具

(F)山祭り用具など E製品、各種天然材の板、 切り株など、

> (3)漁撈(ぎょろう) (G) その他

C製作、修理、 (B)漁撈用具 (A河川と漁場 (図面)漁期

その他

B狩猟用具 (A)絵図など

(6) 畜産

B収穫、処理用具

わなや網など 笛やかご、山刀や服装

(D)その他(なめし皮など)

(5)養蚕 A飼育用具

〇山の神と神体

A飼育用具

「交易」について載せます。 (8)手工、細工等、製品と用具、 次号では「交通・運輸・通信」 (7)繊維関係 A製糸、機織り用具、製品、

伝説散歩



彦蔵ばなし

カジをくくる●●・

彦蔵は安田へ行っての帰り、腹がへったので、於利右衛 門の家へよると、 馬路村の下に、於利右衛門という鍛治が住んでおった

なくくられてしまいよるぞ」 「わしが浜から帰りにみると、これから下のカジは、み と言うと、於利右衛門は気にかかるので、

「そりゃどういう事ぞ。話してくれんか」 と、せきたてると、彦蔵は、

話をする」 「今日は腹がへったき、家へ帰って飯をくうてきてから

と飯をたかせた。 というて帰りかけた。そこで於利右衛門は女房を呼ぶ

彦蔵は腹いっぱいに飯をくうて、

田のふちのコウゾはくくってしまいよる」 「ほんなら話そうか。これから下は田植がはじまるき、

「かじ……わしの言うかじはコウゾのことよ。コウゾを 「彦蔵さん、鍛治はどうしたなら

かじというろうが……」 と平気でいうたそうな。 結局、飯をくうたばあ、得ということになった。

「芸西伝説散歩」より転載